福岡市瑞梅寺川河口・今津干潟の市民科学をめざして（予報）

九州大学

九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室
准教授　清野聡子

・カブトガニを生態系指標種とした
　干潟の生息地（ハビタット）調査
　産卵地砂浜再生の流域土砂管理
・協働の仕組みの学び、実践
・牡蠣礁の機能調査
・環境DNAメタバーコーディング生物相調査

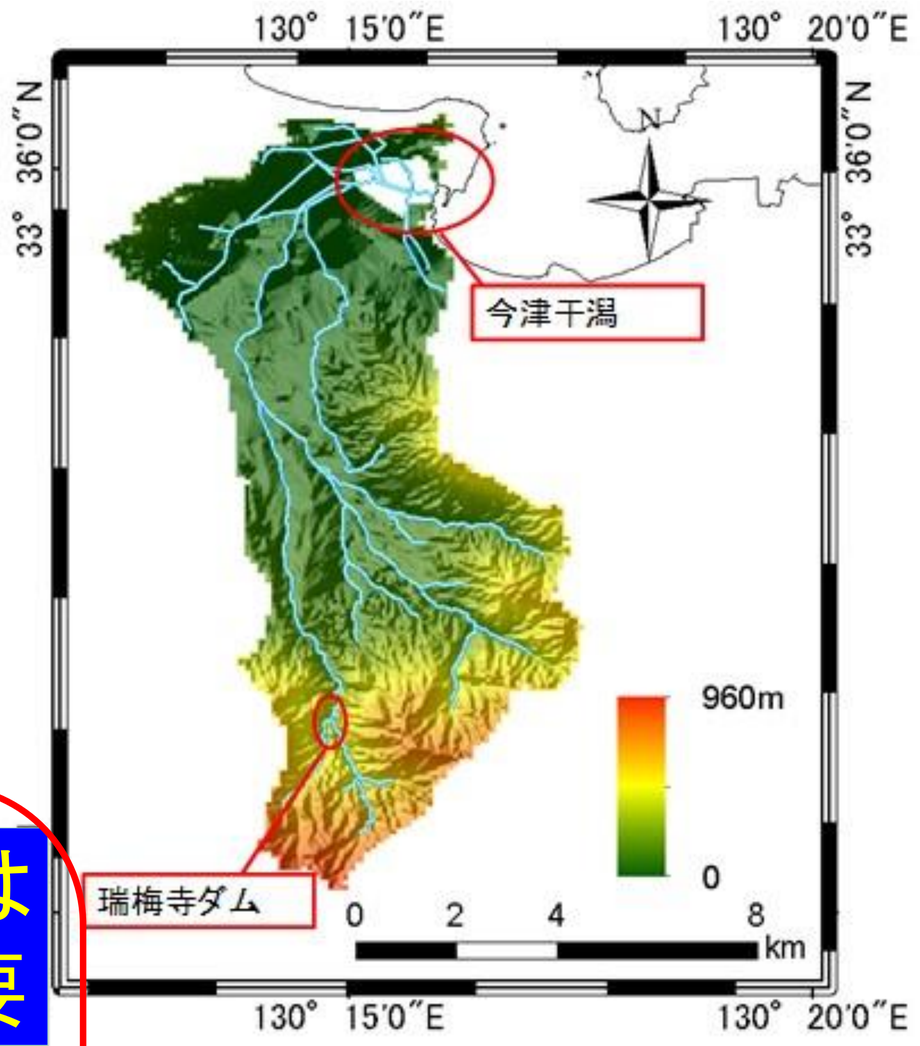
市民科学への動機

・協働の深化
・地域の「水循環」に影響、負荷を与えている流域住民（九大）」としてモニタリングを

今津干潟（瑞梅寺川河口）

・今津干潟は福岡市博多湾西部の約114haの
　瑞梅寺川の河口干潟。
・生きている化石、絶滅危惧種カブトガニの産卵地、幼生生息地。

瑞梅寺川



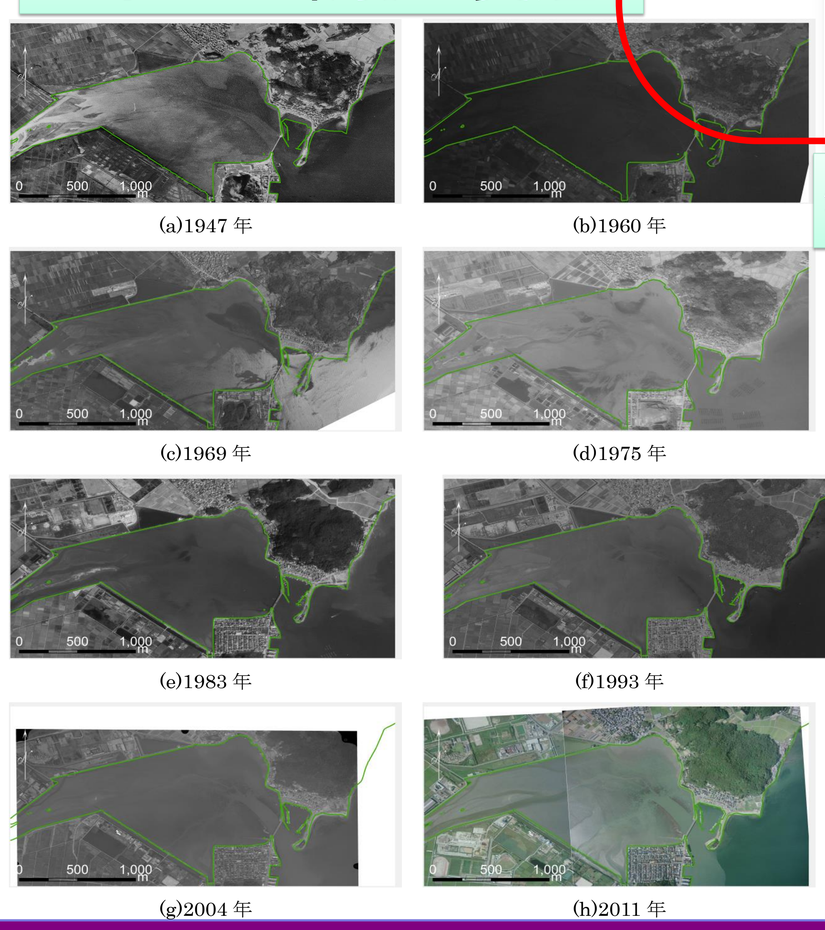
瑞梅寺川は，福岡県西部に位置しその源を脊振山地の井原山(標高983m)に発し，福岡市西区で今津湾に注ぐ流域面積47.3㎢，幹川延長12.8kmの二級河川。

カブトガニ生息地保全には「流域全体」の視野が必要

カブトガニの生活史では「河口」が重要。

　砂浜・泥干潟・沖合の連続的な環境の要。河口には、流域の状態が集約される。

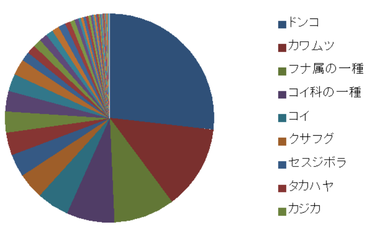
河口の環境の変遷



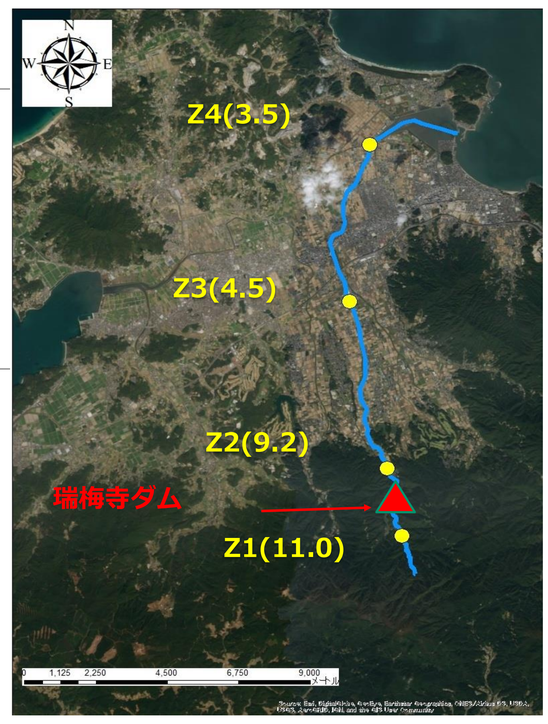
(a)1947 年　(b)1960 年
(c)1969 年　(d)1975 年
(e)1983 年　(f)1993 年
(g)2004 年　(h)2011 年

牡蠣礁の保全

瑞梅寺川：57種（7種）



環境DNAメタバーコーディングによる魚類相調査　（大学）



・数字は河口からの距離
・2017年11月の魚類相
（越口ら　2018）

協働@産卵地の砂浜　住民・市・学

大学院生と産卵地清掃

連絡先：〒819-0395　福岡市西区元岡744　電話・FAX：092-802-3437, E-mail：seino@civil.kyushu-u.ac.jp